

第2期羽島市学校施設の長寿命化計画

持続可能な施設の適正な維持管理を目指して

令和5年3月

羽島市教育委員会

目 次

(1) 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
① 背景	1
② 目的	1
③ 計画期間	1
④ 対象施設	2
(2) 学校施設の目指すべき姿	3
(3) 学校施設の実態	3
① 学校施設の運営状況・活用状況等の実態	3
② 学校施設の老朽化状況の実態	9
(4) 学校施設整備の基本的な方針等	14
① 学校施設の規模・配置計画等の方針	14
② 改修等の基本的な方針	16
(5) 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	17
① 改修等の整備水準	17
② 維持管理の項目・手法等	17
(6) 長寿命化の実施計画	18
① 改修等の優先順位付けと実施計画	18
(7) 長寿命化計画の継続的運用の方針	20
① 情報基盤の整備と活用	20
② 推進体制の整備	20
③ フォローアップ	20
④ 工事の実施に向けた課題の整理	20

(1) 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

① 背景

平成28年3月に策定した「羽島市公共施設等総合管理計画」(以下「総合管理計画」という。)において、本市の学校教育施設は、公共建築物である市有施設全体のうち約5割を占め、延床面積約9.3万㎡を有している。そのうち学校施設は、昭和40～50年代の児童・生徒の急増期に建築された施設が多く、約2割が築50年以上を経過した施設となるなど、今後の老朽化対策が喫緊の課題である。学校施設は、老朽化が進むにつれ、更新需要が高まる中、国や地方自治体の財政状況は厳しく、従来の整備方法では対応が困難となっていく見込みである。

このため、文部科学省は、全国の教育委員会に対し、令和2年度までに公立学校施設に係る個別施設計画を策定し、学校施設の改修等について計画的に取り組むよう求めてきた。本市においても今後、多くの施設整備を行う必要がある一方、人口減少や少子化・高齢化の進展による社会構造の変化に伴い、本市の財政状況はより厳しくなると予想される。そうしたことから、学校施設を可能な限り長期に使用し、施設整備にかかるコストを抑制することを考慮した学校施設整備の方針・計画を検討する必要がある。

② 目的

学校施設を従来型の改築(建て替え)中心とすると、今後、改築に伴う多額の費用が短期間に集中し、財政に過大な負担が生じることとなる。このため、施設整備に長寿命化という考え方を取り入れ、効率的なメンテナンスサイクルの構築や予防保全的な改修等の実施により、施設の機能を維持しながら、これまで以上に長く使い続けることで、ライフサイクルコストの縮減、財政負担の軽減と平準化を図ることが必要である。

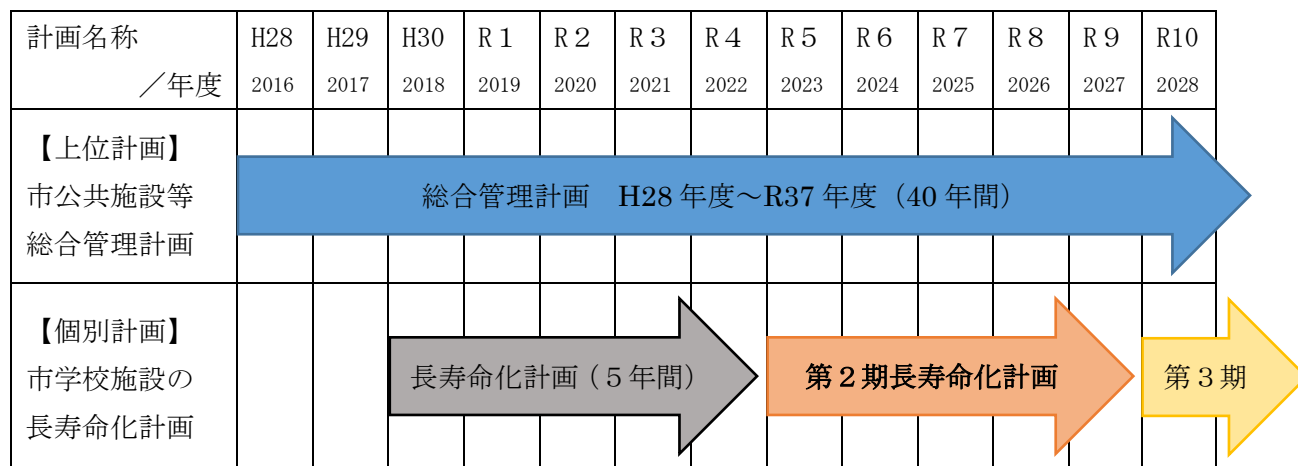
以上を踏まえ、上位計画である総合管理計画との整合を図りつつ「羽島市学校施設の長寿命化計画」(以下「長寿命化計画」という。)を策定する。

③ 計画期間

計画期間は、令和5(2023)年度から令和9(2027)年度までの5年間とする。

ただし、社会情勢や教育環境の変化等への対応が必要となった場合には、計画期間に関わらず見直しを行うものとする。

グラフ1 計画期間グラフ



④ 対象施設

対象施設としては、小学校 8 校、中学校 4 校、義務教育学校 1 校の計 13 校とする。

表 1 対象施設

学校区分	学校数
小学校	8 校
中学校	4 校
義務教育学校	1 校
計	13 校

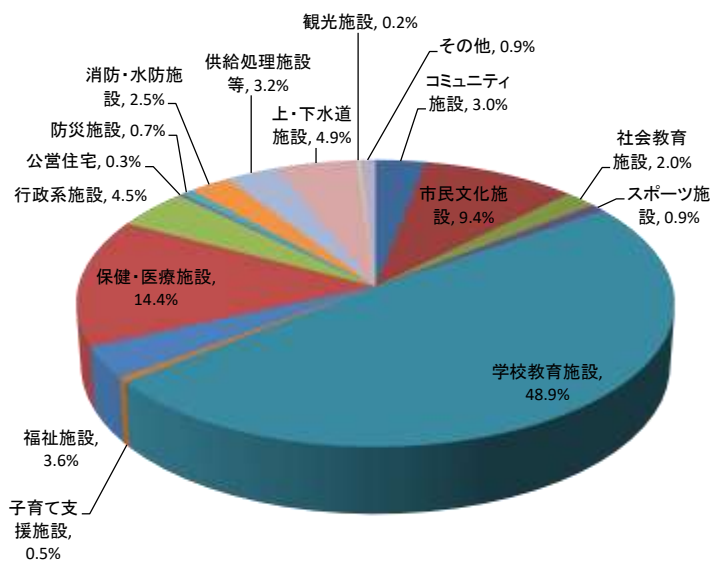
参考資料

総合管理計画より、本市の令和 2 年度末における公共建築物の延床面積は全体で 189,722 m² となっており、施設類型別の施設割合をみると、学校教育施設が 48.9% と最も多く、全体の約半数を占めており、施設マネジメントにおいて重要な施設となっている。

表 施設類型別整備状況

用途区分	延床面積 (m ²)	割合
コミュニティ施設	5,770	3.0%
市民文化施設	17,798	9.4%
社会教育施設	3,711	2.0%
スポーツ施設	1,666	0.9%
学校教育施設	92,860	48.9%
子育て支援施設	1,017	0.5%
福祉施設	6,849	3.6%
保健・医療施設	27,396	14.4%
行政系施設	8,477	4.5%
公営住宅	478	0.3%
防災施設	1,384	0.7%
消防・水防施設	4,761	2.5%
供給処理施設等	6,139	3.2%
上・下水道施設	9,290	4.9%
観光施設	368	0.2%
その他	1,758	0.9%

図 施設類型別整備状況の割合



資料：総合管理計画【第 4 次改訂版】

注：四捨五入により合計が 100% になりません。

※学校教育施設（令和 3 年 3 月時点）計 16 施設

市立小中義務教育学校 13 校、市立幼稚園 1 園、学校給食センター 2 施設

(2) 学校施設の目指すべき姿

学校施設は、次代を担う児童・生徒が学習活動のために、多くの時間を過ごす教育施設であることから、安心安全（災害・防犯等）で快適な教育環境を確保するのはもちろん、時代とともに変化する教育活動への適応性にも配慮することが求められる。また、学校施設は地域住民にとって生涯学習やスポーツの場として親しまれるとともに、災害発生時には避難所となる役割を担っており、防災面での機能も期待されている。

さらに、社会的な要請として、省エネ対応などの環境負荷の低減やユニバーサルデザインに留意した施設にしていくことも求められている。

加えて、本市では平成 29 年度から学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を導入し、地域とともにある学校づくりを進めている。児童・生徒数の減少に伴う余剰教室や余剰スペースについて、学校機能に配慮した中で地域施設としての利活用を図ることも必要である。

(3) 学校施設の実態

① 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

1) 対象施設一覧

表2 対象施設の児童・生徒数及び学級数

令和4年5月1日時点

施設名	住所	児童・生徒数（人）		学級数（学級）			
		通常学級 在籍者数	特別 支援	通常 学級	特別 支援		
小学校	1 足近小学校	羽島市足近町7丁目66番地1	206	4	8	1	
	2 小熊小学校	羽島市小熊町2丁目361番地5	144	0	6	0	
	3 正木小学校	羽島市正木町坂丸4丁目3番地	704	27	23	4	
	4 竹鼻小学校	羽島市竹鼻町1295番地1	674	21	21	4	
	5 中央小学校	羽島市江吉良町1270番地	793	18	25	3	
	6 福寿小学校	羽島市福寿町本郷1096番地1	478	13	17	3	
	7 堀津小学校	羽島市堀津町617番地1	164	1	7	1	
	8 中島小学校	羽島市上中町沖2100番地	181	10	6	2	
小学校計		3,344	94	113	18		
中学校	9 羽島中学校	羽島市足近町7丁目455番地	639	11	19	2	
	10 竹鼻中学校	羽島市竹鼻町3176番地	555	19	16	3	
	11 中央中学校	羽島市竹鼻町飯柄505番地	391	13	12	2	
	12 中島中学校	羽島市上中町沖1593番地	204	5	6	1	
中学校計		1,789	48	53	8		
義務教育 学校	13	桑原学園（前）	羽島市桑原町八神3315番地1	111	0	6	0
		桑原学園（後）	羽島市桑原町八神3315番地1	52	0	3	0
義務教育学校計		163	0	9	0		
小中義務教育学校計		5,296	142	175	26		
総計		5,438		201			

資料：教育委員会事務局学校教育課

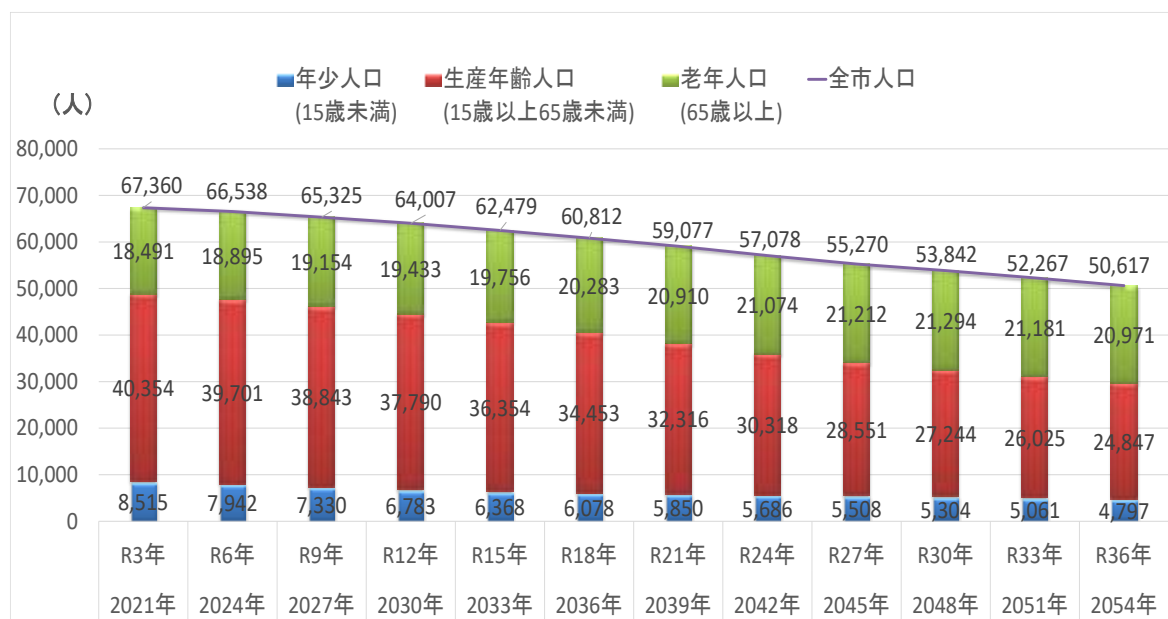
2) 児童・生徒数及び学級数の変化

ア 本市の人口及び年代別人口についての見通し

推計の結果、本市の人口は、平成25年から2,323人減少し、令和6年には66,538人となると見込まれる。

こうした見込みに対し、羽島市人口ビジョンでは、第6次総合計画に定める各種施策を展開することにより、令和6年における本市の目標人口を67,000人とし、その実現を目指すものとしている。

図1 年齢3区分人口の推移



※ 小数点以下第一位を四捨五入して算出しており、年少人口と生産年齢人口と老年人口の和が全市人口とならない場合がある。

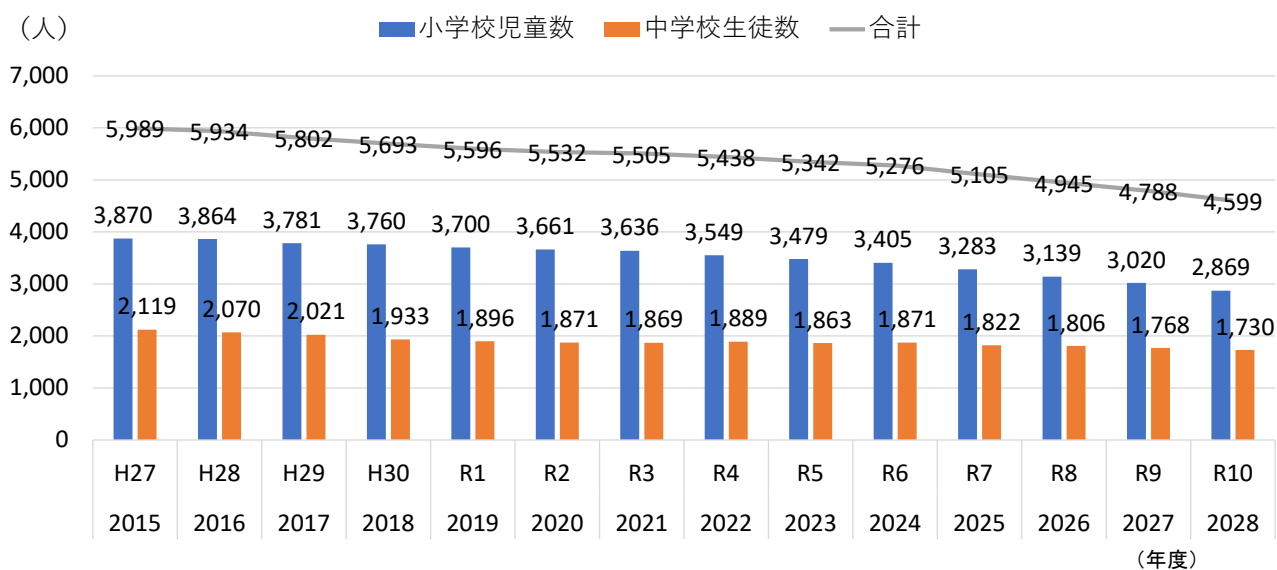
資料：羽島市人口ビジョン

イ 児童・生徒数及び学級数

少子化の進展に伴い、児童・生徒数は減少傾向が続いている。図2のように平成27年度に5,989人であったものが、令和4年5月現在5,438人にまで減少している。さらに、令和10年度には約4,600人まで減少することが予測されている。

学級数についても、児童・生徒数の減少に伴い減少傾向である。図3のように平成27年度に209学級であったものが、令和4年5月現在201学級にまで減少している。さらに、令和10年度には171学級にまで減少することが予測されている。

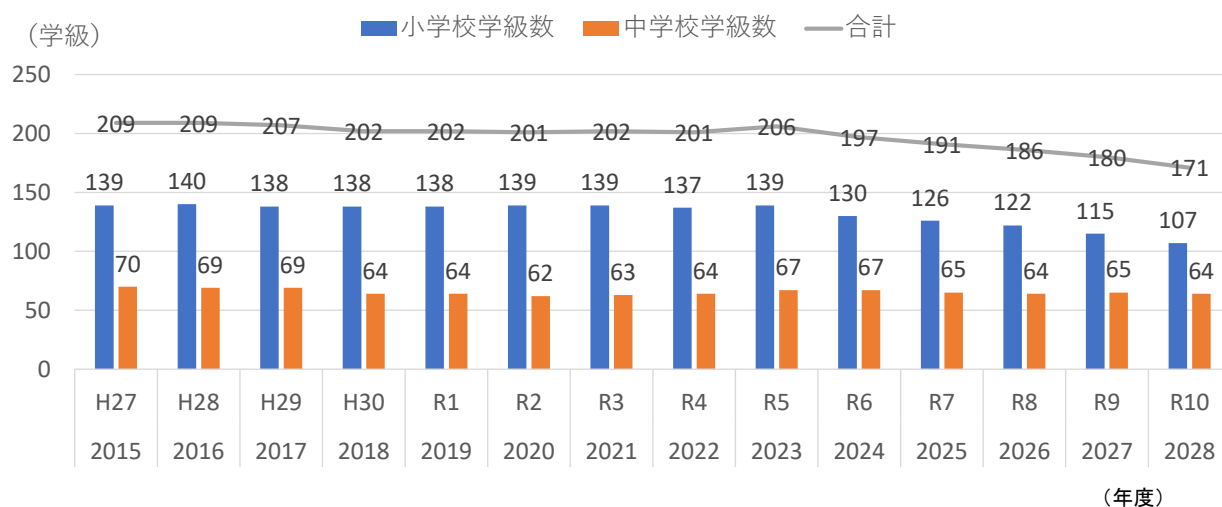
図2 児童・生徒数の推移



※義務教育学校を含む（前期は小学校、後期は中学校）

資料：教育委員会事務局学校教育課

図3 学級数の推移



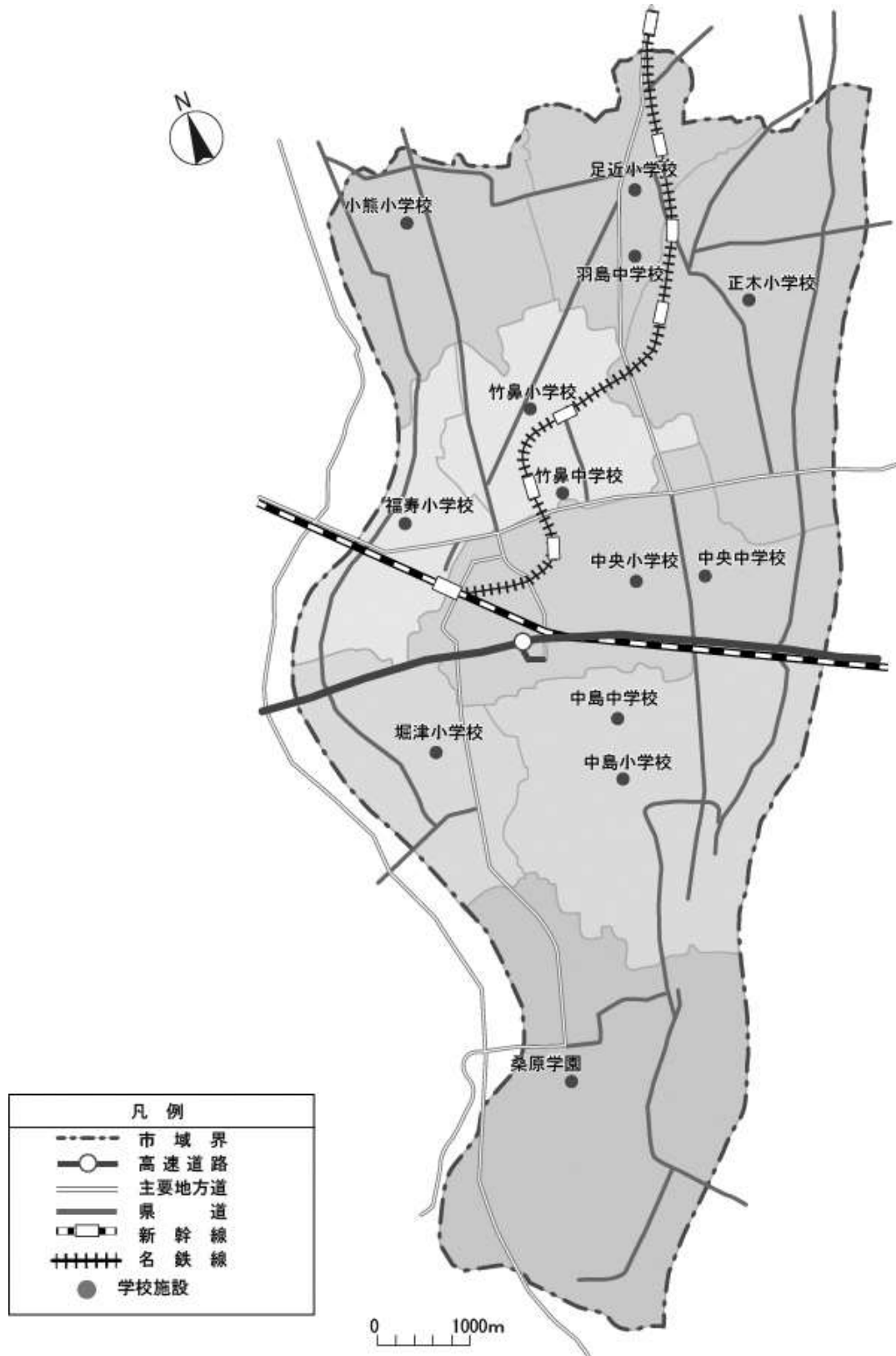
※義務教育学校を含む（前期は小学校、後期は中学校）

資料：教育委員会事務局学校教育課

3) 学校施設の配置状況

学校施設は、北部に小学校3校と中学校1校、中部に小学校3校と中学校2校、南部に小学校2校と中学校1校、義務教育学校1校が配置されている。

図4 学校施設配置図

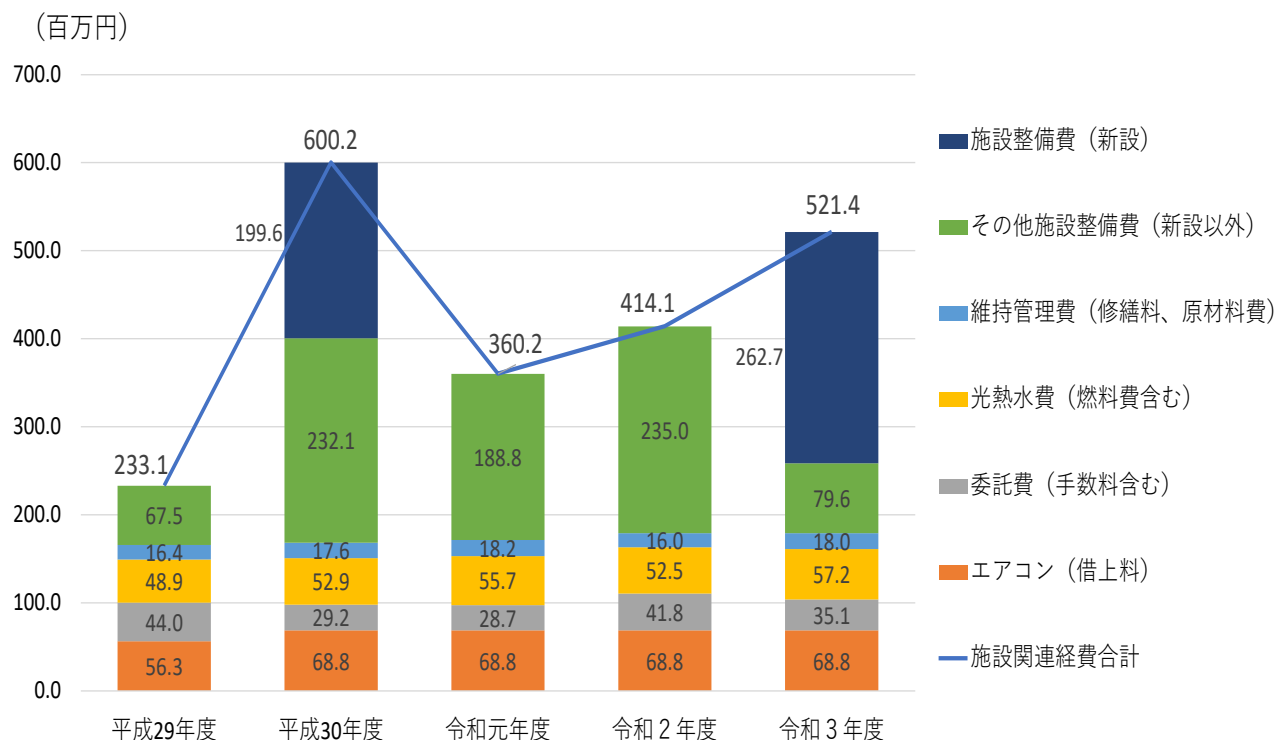


4) 施設関連経費の推移

図5のように平成29年度から令和3年度における施設関連経費は、年間約2.3億円から約6億円で推移しており、表3のように5年間の平均は約4.3億円/年となっている。

経費の内訳をみると、その他施設整備費が最も高く5年間の平均は約1.6億円/年となっており、平成29年度からはエアコン（借上料）が新たに加わり、当初計画の5年間の平均と比較した施設関連経費は約0.8億円/年の増加となっている。

図5 施設関連経費の推移



※ 小数点以下第一位を四捨五入して算出しており、個別費用の和が合計費用とならない場合がある。

資料：教育委員会事務局教育政策課

表3 施設関連経費の推移

(単位：円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	5年平均
施設整備費	0	199,584,000	0	0	262,705,300	92,457,860
その他施設整備費	67,510,800	232,131,169	188,829,300	235,021,652	79,609,871	160,620,558
維持管理費	16,411,572	17,607,691	18,185,179	15,985,529	17,962,658	17,230,526
光熱水費	48,930,267	52,859,555	55,732,441	52,481,291	57,184,172	53,437,545
委託費	43,969,425	29,189,591	28,704,787	41,803,266	35,119,697	35,757,353
エアコン (借上料)	56,319,384	68,780,424	68,780,424	68,780,424	68,780,424	66,288,216
施設関連経費合計	233,141,448	600,152,430	360,232,131	414,072,162	521,362,122	425,792,059

資料：教育委員会事務局教育政策課

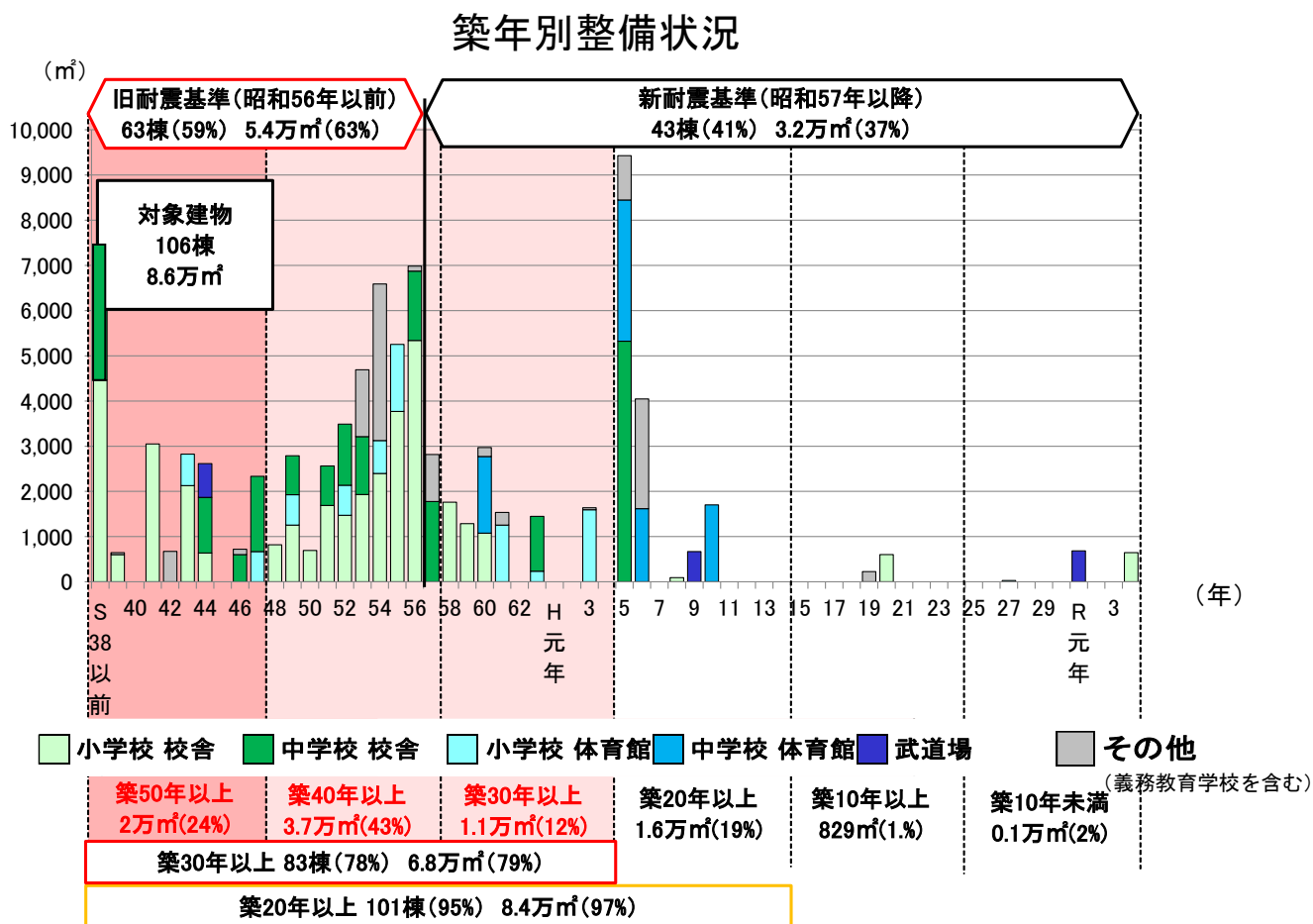
5) 学校施設の保有量

本調査の対象建物は、延床面積 200 ㎡以上の学校施設を基本とする 106 棟、延床面積約 8.6 万㎡であり、学校施設全体の延床面積約 8.85 万㎡の約 97%を対象とする。

このうち、昭和 57 年以降の新耐震基準の建物は 43 棟あり、延床面積は約 3.2 万㎡にとどまっている。

また、築年別整備状況は、図 6 に示したとおりであり、小学校は、昭和 43 年から昭和 58 年の間に、中学校は、昭和 44 年から昭和 57 年の間に多く整備されている。これらの建物の多くは、築 30 年以上が経過し、中には築 50 年以上を経過する建物もみられるなど老朽化が進んでいる。

図 6 築年別整備状況



② 学校施設の老朽化状況の実態

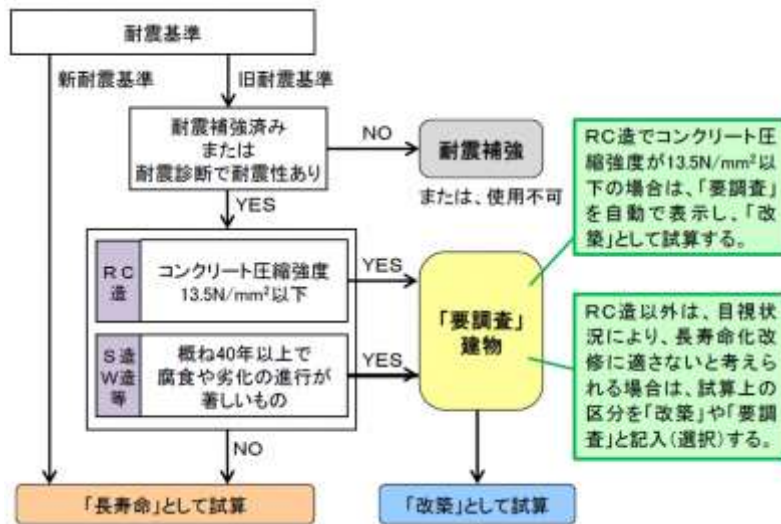
1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

表4の情報を基に、図7・表5の評価方法で構造躯体の健全性の評価や劣化状況等の評価を行った。

表4 建物情報一覧表の情報

情報・評価	記載・判定内容
建物基本情報	学校施設台帳
構造躯体の健全性 (図7)	耐震安全性 新耐震・旧耐震基準 旧耐震基準については耐震診断結果
	長寿命化判定 RC造ではコンクリート圧縮強度(13.5N/mm ²)をもとに「要調査」「長寿命」の判定
劣化状況評価(表5)	5部位の劣化調査をもとに健全度判定

図7 構造躯体の健全性



資料：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書

表5 劣化状況評価

区分	評価方法	評価基準																								
評価基準	7～9月に現地調査を実施し、屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価	<p>評価基準</p> <p>目視による評価【屋根・屋上、外壁】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 概ね良好</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B 部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C 広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の上)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D 早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり)(躯体の耐久性に影響を与えている)(設備が故障し施設運営に支障を与えている)等</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>経過年数による評価【内部仕上げ、電気設備、機械設備】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 20年未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B 20～40年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C 40年以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D 経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	基準	A 概ね良好		B 部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)		C 広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の上)		D 早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり)(躯体の耐久性に影響を与えている)(設備が故障し施設運営に支障を与えている)等		評価	基準	A 20年未満		B 20～40年		C 40年以上		D 経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合					
評価	基準																									
A 概ね良好																										
B 部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)																										
C 広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の上)																										
D 早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり)(躯体の耐久性に影響を与えている)(設備が故障し施設運営に支障を与えている)等																										
評価	基準																									
A 20年未満																										
B 20～40年																										
C 40年以上																										
D 経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合																										
健全度の算定	各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標	<p>①部位の評価点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価点</th> <th>評価点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>②部位のコスト配分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>コスト配分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 屋根・屋上</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>2 外壁</td> <td>17.2</td> </tr> <tr> <td>3 内部仕上げ</td> <td>22.4</td> </tr> <tr> <td>4 電気設備</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td>5 機械設備</td> <td>7.3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table> <p>③健全度</p> <p>総和(部位の評価点×部位のコスト配分)÷60</p>	評価点	評価点	A	100	B	75	C	40	D	10	部位	コスト配分	1 屋根・屋上	5.1	2 外壁	17.2	3 内部仕上げ	22.4	4 電気設備	8.0	5 機械設備	7.3	計	60
評価点	評価点																									
A	100																									
B	75																									
C	40																									
D	10																									
部位	コスト配分																									
1 屋根・屋上	5.1																									
2 外壁	17.2																									
3 内部仕上げ	22.4																									
4 電気設備	8.0																									
5 機械設備	7.3																									
計	60																									

資料：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書

対象建物 106 棟の実態は、表 6・7 のとおりであり、構造躯体の健全性についてみると、全て長寿命の判定となった。

劣化状況評価についてみると、D 評価の部位のみられる棟は 4 棟みられた。また、健全度については 40 点未満の棟は 2 棟、40 点以上 50 点未満の棟は 12 棟となっている。

表 6 建物情報一覧表①

建物情報一覧表																										
建物基本情報															構造躯体の健全性					劣化状況評価					備考	
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		劣化状況評価							
						学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)	試算上の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		健全度(100点満点)
1	61	足近小学校	校舎(東)	13-1	1770	小学校	校舎	RC	3	694	1975	S50	47	旧	済	済	H23	28.1	長寿命	C	C	C	C	C	40	
2	61	足近小学校	校舎(中)	13-2	1771	小学校	校舎	RC	3	974	1976	S51	46	旧	済	済	H23	28.1	長寿命	C	C	C	C	C	40	
3	61	足近小学校	校舎(西)	18	1772	小学校	校舎	RC	3	1,258	1983	S58	39	新	-	-	-	-	長寿命	C	A	B	B	B	79	
4	61	足近小学校	屋内運動場	17	1773	小学校	体育館	RC	1	725	1979	S54	43	旧	済	済	H19	32	長寿命	A	A	B	B	B	84	
5	62	小熊小学校	北舎(東)	12-1	1786	小学校	校舎	RC	3	793	1977	S52	45	旧	済	済	H25	31.2	長寿命	A	A	C	B	B	71	
6	62	小熊小学校	北舎(中)	12-2	1787	小学校	校舎	RC	3	252	1979	S54	43	旧	済	済	H25	31.2	長寿命	A	A	C	B	B	71	
7	62	小熊小学校	北舎(西)	12-3	1788	小学校	校舎	RC	3	882	1981	S56	41	旧	済	済	H25	31.2	長寿命	A	B	C	B	B	64	
8	62	小熊小学校	南舎	15	1791	小学校	校舎	RC	3	1,895	1981	S56	41	旧	済	済	H21	39.1	長寿命	A	A	C	B	B	71	
9	62	小熊小学校	屋内運動場	17	1793	小学校	体育館	RC	2	670	1974	S49	48	旧	済	済	H21	22.6	長寿命	A	A	C	C	C	62	
10	62	小熊小学校	配膳室(北舎北側)	13	1789	小学校	その他	S	1	95	1986	S61	36	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62	
11	62	小熊小学校	昇降口(北舎-南舎間)	14	1790	小学校	その他	RC	1	108	1981	S56	41	旧	済	-	H16	20.6	長寿命	A	C	B	B	B	67	
12	66	正木小学校	北舎(東側1~2F)	1-1	1806	小学校	校舎	RC	3	724	1963	S38	59	旧	済	済	H19	20.4	長寿命	B	B	C	C	C	53	
13	66	正木小学校	北舎(東側1~2F)	1-2	1807	小学校	校舎	RC	3	602	1964	S39	58	旧	済	済	H19	20.4	長寿命	B	A	C	C	C	60	
14	66	正木小学校	北舎(東側3F)	1-4	1809	小学校	校舎	RC	3	695	1968	S43	54	旧	済	済	H19	20.4	長寿命	B	B	C	C	C	53	
15	66	正木小学校	北舎(西側増築東)	1-7	1810	小学校	校舎	RC	3	126	1969	S44	53	旧	済	済	H19	20.4	長寿命	A	A	C	C	C	62	
16	66	正木小学校	北舎(西側増築中)	2-1	1811	小学校	校舎	RC	3	512	1968	S44	53	旧	済	済	H20	25	長寿命	B	B	C	C	C	53	
17	66	正木小学校	北舎(西側増築西)	2-2	1812	小学校	校舎	RC	3	520	1974	S49	48	旧	済	済	H20	25	長寿命	B	A	C	C	C	60	
18	66	正木小学校	中舎(東)	18-1	1815	小学校	校舎	RC	3	714	1976	S51	46	旧	済	済	H19	25.2	長寿命	C	D	C	C	C	31	
19	66	正木小学校	中舎(中)	18-2	1816	小学校	校舎	RC	3	504	1978	S53	44	旧	済	済	H19	25.2	長寿命	C	D	B	B	B	53	
20	66	正木小学校	中舎(西)	29	1823	小学校	校舎	RC	3	603	2008	H20	14	新	-	-	-	-	長寿命	B	A	A	A	A	98	
21	66	正木小学校	南舎	24	1819	小学校	校舎	RC	3	1,948	1980	S55	42	旧	済	済	H25	35.5	長寿命	C	C	B	B	B	62	
22	66	正木小学校	屋内運動場	28-1	1821	小学校	体育館	RC	1	1,595	1991	H3	31	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	
23	66	正木小学校	昇降口(北舎東)	1-3	1808	小学校	その他	S	1	43	1964	S39	58	旧	済	済	H19	S造	長寿命	A	A	C	C	C	62	
24	66	正木小学校	配膳室(昇降口東)	2-1	1826	小学校	その他	RC	1	257	1978	S53	44	旧	済	-	H16	17.7	長寿命	A	B	B	B	B	77	
25	64	竹鼻小学校	北舎(西側西)	1-1	1851	小学校	校舎	RC	3	910	1966	S41	56	旧	済	済	H18	20	長寿命	B	A	A	C	C	83	
26	64	竹鼻小学校	北舎(西側東)	1-2	1852	小学校	校舎	RC	3	2,140	1966	S41	56	旧	済	済	H18	20	長寿命	B	B	A	C	C	75	
27	64	竹鼻小学校	北舎(東側増築東)	16-1	1860	小学校	校舎	RC	3	597	1974	S49	48	旧	済	済	H19	21.6	長寿命	B	B	A	B	B	84	
28	64	竹鼻小学校	北舎(東側増築東)	16-2	1861	小学校	校舎	RC	3	537	1978	S53	44	旧	済	済	H19	21.6	長寿命	B	B	A	B	B	84	
29	64	竹鼻小学校	北舎(東側増築西)	17	1862	小学校	校舎	RC	3	138	1974	S49	48	旧	済	済	H20	21.6	長寿命	A	B	A	C	C	78	
30	64	竹鼻小学校	南舎	2	1853	小学校	校舎	RC	3	1,435	1968	S43	54	旧	済	済	H14	17.6	長寿命	C	B	C	C	C	50	
31	64	竹鼻小学校	屋内運動場	13	1857	小学校	体育館	RC	2	1,484	1980	S55	42	旧	済	済	H20	30.2	長寿命	B	C	B	B	B	65	
32	64	竹鼻小学校	配膳室(北舎北側)	3	1854	小学校	その他	S	1	111	1986	S61	36	新	-	-	-	-	長寿命	B	A	B	B	B	82	
33	64	竹鼻小学校	北舎(中央玄関)	4	1855	小学校	その他	S	1	44	1991	H3	31	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84	
34	64	竹鼻小学校	昇降口(北舎-南舎間)	20	1863	小学校	その他	S	2	226	2007	H19	15	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93	
35	65	中央小学校	管理棟	23	1904	小学校	校舎	RC	2	1,077	1985	S60	37	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67	
36	65	中央小学校	北舎(西)	1-1	1895	小学校	校舎	RC	2	1,041	1956	S31	66	旧	済	済	H19	20.9	長寿命	B	C	C	C	C	43	
37	65	中央小学校	北舎(東)	1-2	1896	小学校	校舎	RC	2	684	1957	S32	65	旧	済	済	H19	20.9	長寿命	B	C	C	C	C	43	
38	65	中央小学校	北舎(トイレ)	2	1897	小学校	校舎	RC	2	156	1977	S52	45	旧	済	-	H16	17.6	長寿命	B	C	A	C	C	65	
39	65	中央小学校	南舎(東)	17-1	1898	小学校	校舎	RC	3	821	1973	S48	49	旧	済	済	H23	30.9	長寿命	B	A	C	C	C	60	
40	65	中央小学校	南舎(中)	17-2	1899	小学校	校舎	RC	3	522	1977	S52	45	旧	済	済	H23	30.9	長寿命	B	A	C	C	C	60	
41	65	中央小学校	南舎(西)	17-3	1900	小学校	校舎	RC	4	1,819	1980	S55	42	旧	済	済	H23	30.9	長寿命	B	B	B	B	B	75	
42	65	中央小学校	屋内運動場	22-1	1901	小学校	体育館	RC	2	694	1968	S43	54	旧	済	済	H26	37.3	長寿命	A	C	C	C	C	45	
43	65	中央小学校	屋内運動場(西側)	22-3	1902	小学校	体育館	S	1	54	1988	S63	34	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
44	65	中央小学校	屋内運動場(東側)	22-4	1903	小学校	体育館	S	1	63	1988	S63	34	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
45	65	中央小学校	屋内運動場(北側)	26	1907	小学校	体育館	S	1	120	1988	S63	34	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	
46	65	中央小学校	屋内運動場(東側)	27	1926	小学校	体育館	S	1	29	2015	H27	7	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
47	65	中央小学校	昇降口(北舎-南舎間)	24	1905	小学校	その他	RC	2	198	1985	S60	37	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67	
48	63	福寿小学校	南舎(東)	11-1	1929	小学校	校舎	RC	3	889	1978	S53	44	旧	済	済	H23	29.5	長寿命	A	A	B	B	B	84	
49	63	福寿小学校	南舎(西)	11-2	1930	小学校	校舎	RC	3	2,560	1981	S56	41	旧	済	済	H23	29.5	長寿命	B	A	B	B	B	82	
50	63	福寿小学校	北舎	17	3001	小学校	校舎	S	2	645	2022	R4	0	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
51	63	福寿小学校	屋内運動場	14	1932	小学校	体育館	RC	2	669	1972	S47	50	旧	済	済	H26	27.1	長寿命	C	D	C	C	C	31	

表7 建物情報一覧表②

建物情報一覧表														A:概ね良好		C:広範囲に劣化		B:部分的に劣化		D:早急に対応する必要がある						
建物基本情報														構造躯体の健全性				劣化状況評価				備考				
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		耐震安全性				長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上		電気設備	機械設備	健全度(100点満点)	
						学校種別	建物用途				西暦	和暦	築年数	基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)								試算上の区分
52	67	堀津小学校	校舎(西1~2F)	11-1	1946	小学校	校舎	RC	3	1,154	1979	S54	43	旧	済	済	H20	27	長寿命	A	B	C	B	B	64	
53	67	堀津小学校	校舎(東)	11-2	1947	小学校	校舎	RC	3	504	1983	S58	39	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
54	67	堀津小学校	校舎(西2~3F)	11-3	1948	小学校	校舎	RC	3	736	1979	S54	43	旧	済	済	H20	27	長寿命	B	B	C	B	B	62	
55	67	堀津小学校	屋内運動場	18	1949	小学校	体育館	RC	1	666	1977	S52	45	旧	済	済	H19	29	長寿命	B	C	C	C	C	43	
56	68	中島小学校	校舎(東側西)	1-1	1962	小学校	校舎	RC	3	917	1959	S34	63	旧	済	済	H21	13.9	長寿命	A	B	B	C	C	68	
57	68	中島小学校	校舎(東側東)	1-2	1963	小学校	校舎	RC	3	1,095	1961	S36	61	旧	済	済	H21	13.9	長寿命	B	B	A	C	C	75	
58	68	中島小学校	校舎(西側増築中)	16	1967	小学校	校舎	RC	3	257	1979	S54	43	旧	済	-	H16	20.6	長寿命	B	C	B	B	B	65	
59	68	中島小学校	校舎(西側増築中)	17	1968	小学校	校舎	RC	3	1,287	1984	S59	38	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	
60	68	中島小学校	校舎(西側増築中)	19	1970	小学校	校舎	S	3	93	1996	H8	26	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
61	68	中島小学校	屋内運動場	15-1	1965	小学校	体育館	RC	1	1,256	1986	S61	36	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	
62	68	中島小学校	配膳室(校舎北)	18	1969	小学校	その他	S	1	74	1986	S61	36	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
63	3531	羽島中学校	北舎(中央東側)	10-1	2001	中学校	校舎	RC	4	604	1971	S46	51	旧	済	済	H20	18	長寿命	B	C	C	C	C	43	
64	3531	羽島中学校	北舎(中央西側)	10-2	2002	中学校	校舎	RC	4	1,664	1972	S47	50	旧	済	済	H20	18	長寿命	B	C	C	C	C	43	
65	3531	羽島中学校	北舎(東側2~4F)	10-4	2003	中学校	校舎	RC	4	1,350	1977	S52	45	旧	済	済	H20	18	長寿命	B	B	C	C	C	53	
66	3531	羽島中学校	北舎(西側)	31-1	2013	中学校	校舎	RC	4	877	1976	S51	46	旧	済	済	H25	28.4	長寿命	A	C	C	C	C	45	
67	3531	羽島中学校	南舎	23	2007	中学校	校舎	RC	3	1,536	1981	S56	41	旧	済	済	H25	35	長寿命	B	B	B	B	B	75	
68	3531	羽島中学校	屋内運動場	25-1	2008	中学校	体育館	RC	1	1,651	1985	S60	37	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62	
69	3531	羽島中学校	クラブハウス(屋内運動場内)	25-2	2009	中学校	体育館	RC	1	44	1985	S60	37	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62	
70	3531	羽島中学校	武道場	27	2012	中学校	武道場	RC	1	668	1997	H9	25	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
71	3531	羽島中学校	昇降口(北舎北)	30	2017	中学校	その他	RC	1	116	1971	S46	51	旧	済	-	H16	18	長寿命	B	B	C	C	C	53	
72	3532	竹鼻中学校	北舎(東)	1-1	2042	中学校	校舎	RC	3	851	1961	S36	61	旧	済	済	H19	17.4	長寿命	A	A	C	C	C	62	
73	3532	竹鼻中学校	北舎(中)	1-2	2043	中学校	校舎	RC	3	567	1962	S37	60	旧	済	済	H19	17.4	長寿命	A	B	C	C	C	55	
74	3532	竹鼻中学校	北舎(西)	1-3	2044	中学校	校舎	RC	3	711	1962	S37	60	旧	済	済	H19	17.4	長寿命	A	A	C	C	C	62	
75	3532	竹鼻中学校	中舎(西)	3-1	2045	中学校	校舎	RC	3	868	1963	S38	59	旧	済	済	H21	21.8	長寿命	B	B	C	C	C	53	
76	3532	竹鼻中学校	中舎(東)	3-2	2046	中学校	校舎	RC	3	1,229	1969	S44	53	旧	済	済	H21	21.8	長寿命	B	B	C	C	C	53	
77	3532	竹鼻中学校	南舎	11	2047	中学校	校舎	RC	4	864	1974	S49	48	旧	済	済	H25	21.4	長寿命	A	C	C	C	C	45	
78	3532	竹鼻中学校	屋内運動場	22	2049	中学校	体育館	RC	1	1,617	1994	H6	28	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67	
79	3532	竹鼻中学校	武道場	24	3002	中学校	武道場	S	1	685	2019	R元	3	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
80	3532	竹鼻中学校	配膳室(中舎南側)	14	2053	中学校	その他	S	1	66	1979	S54	43	旧	済	-	S造	長寿命	B	B	B	B	B	75		
81	3537	中央中学校	北舎	1	2092	中学校	校舎	RC	3	2,788	1993	H5	29	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
82	3537	中央中学校	南舎	4	2094	中学校	校舎	RC	2	2,536	1993	H5	29	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
83	3537	中央中学校	特別教室(屋内運動場内)	5-3	2097	中学校	体育館	RC	2	730	1993	H5	29	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	
84	3537	中央中学校	屋内運動場	5-1	2095	中学校	体育館	RC	2	1,676	1993	H5	29	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	
85	3537	中央中学校	柔剣道場(屋内運動場内)	5-4	2102	中学校	体育館	RC	2	555	1993	H5	29	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	
86	3537	中央中学校	総務室(北舎同一棟北西)	2	2101	中学校	その他	RC	2	539	1993	H5	29	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
87	3537	中央中学校	減額下(北舎南側)	3	2093	中学校	その他	RC	2	445	1993	H5	29	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
88	3537	中央中学校	プール専用附属室(屋内運動場)	5-5	2103	中学校	体育館	RC	2	158	1993	H5	29	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	
89	3533	中島中学校	北舎	13	2107	中学校	校舎	RC	3	1,281	1978	S53	44	旧	済	済	H21	21.7	長寿命	B	B	B	B	B	75	
90	3533	中島中学校	南舎(西)	15-1	2108	中学校	校舎	RC	3	1,776	1982	S57	40	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67	
91	3533	中島中学校	南舎(東)	15-2	2109	中学校	校舎	RC	3	1,211	1988	S63	34	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62	
92	3533	中島中学校	武道場	16	2114	中学校	武道場	RC	2	749	1969	S44	53	旧	済	済	H21	28.9	長寿命	B	C	C	C	C	43	
93	3533	中島中学校	屋内運動場	17-1	2110	中学校	体育館	RC	1	1,666	1998	H10	24	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	B	A	87	
94	3533	中島中学校	クラブハウス(屋内運動場内)	17-2	2111	中学校	体育館	RC	1	37	1998	H10	24	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91	
95	3533	中島中学校	配膳室(北舎東)	18	2112	中学校	その他	RC	1	63	1982	S57	40	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84	
96	C011	桑原学園(前)	校舎(1~2F)	11-1	1987	義務教育学校	校舎	RC	3	1,861	1979	S54	43	旧	済	済	H21	31.1	長寿命	B	B	B	B	B	75	
97	C011	桑原学園(前)	校舎(2~3F)	11-2	1988	義務教育学校	校舎	RC	3	1,331	1979	S54	43	旧	済	済	H21	31.1	長寿命	B	B	B	B	B	75	
98	C011	桑原学園(前)	屋内運動場	15	1991	義務教育学校	体育館	RC	2	673	1967	S42	55	旧	済	済	H26	30.6	長寿命	D	B	C	C	C	48	
99	C011	桑原学園(前)	配膳室(校舎北)	12	1993	義務教育学校	その他	RC	1	206	1979	S54	43	旧	済	-	H16	21	長寿命	B	C	B	B	B	65	
100	J011	桑原学園(後)	校舎(東)	13-1	2137	義務教育学校	校舎	RC	3	1,221	1978	S53	44	旧	済	済	H25	21.2	長寿命	B	C	B	B	B	65	
101	J011	桑原学園(後)	校舎(西)	14	2138	義務教育学校	校舎	RC	3	979	1982	S57	40	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	C	C	53	
102	J011	桑原学園(後)	特別教室(屋内運動場内)	18-4	2141	義務教育学校	体育館	RC	1	278	1994	H6	28	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67	
103	J011	桑原学園(後)	屋内運動場	18-1	2139	義務教育学校	体育館	RC	1	1,459	1994	H6	28	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	
104	J011	桑原学園(後)	クラブハウス(屋内運動場内)	18-2	2140	義務教育学校	体育館	RC	1	37	1994	H6	28	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67	
105	J011	桑原学園(後)	柔剣道場(屋内運動場内)	18-3	2143	義務教育学校	体育館	RC	1	616	1994	H6	28	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	
106	J011	桑原学園(後)	特別教室(屋内運動場内)	18-5	2142	義務教育学校	体育館	RC	1	37	1994	H6	28	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67	

2) 今後の維持・更新コスト比較

ア 従来型(文部科学省想定)

40年で改築する従来の整備方法を採用した場合、今後40年間のコストは425億円(10.6億円/年)かかる。これは直近5年間の施設関連経費4.3億円/年の2.5倍程度のコストとなっている。また、令和5～14年度の10年間では、改築が集中するため直近5年間の施設関連経費の4倍以上のコストがかかる。従来の改築中心の整備を継続することは難しく、対応策を検討する必要がある。

図8 今後の維持・更新コスト(従来型)【築20年で大規模改造、築40年で改築】

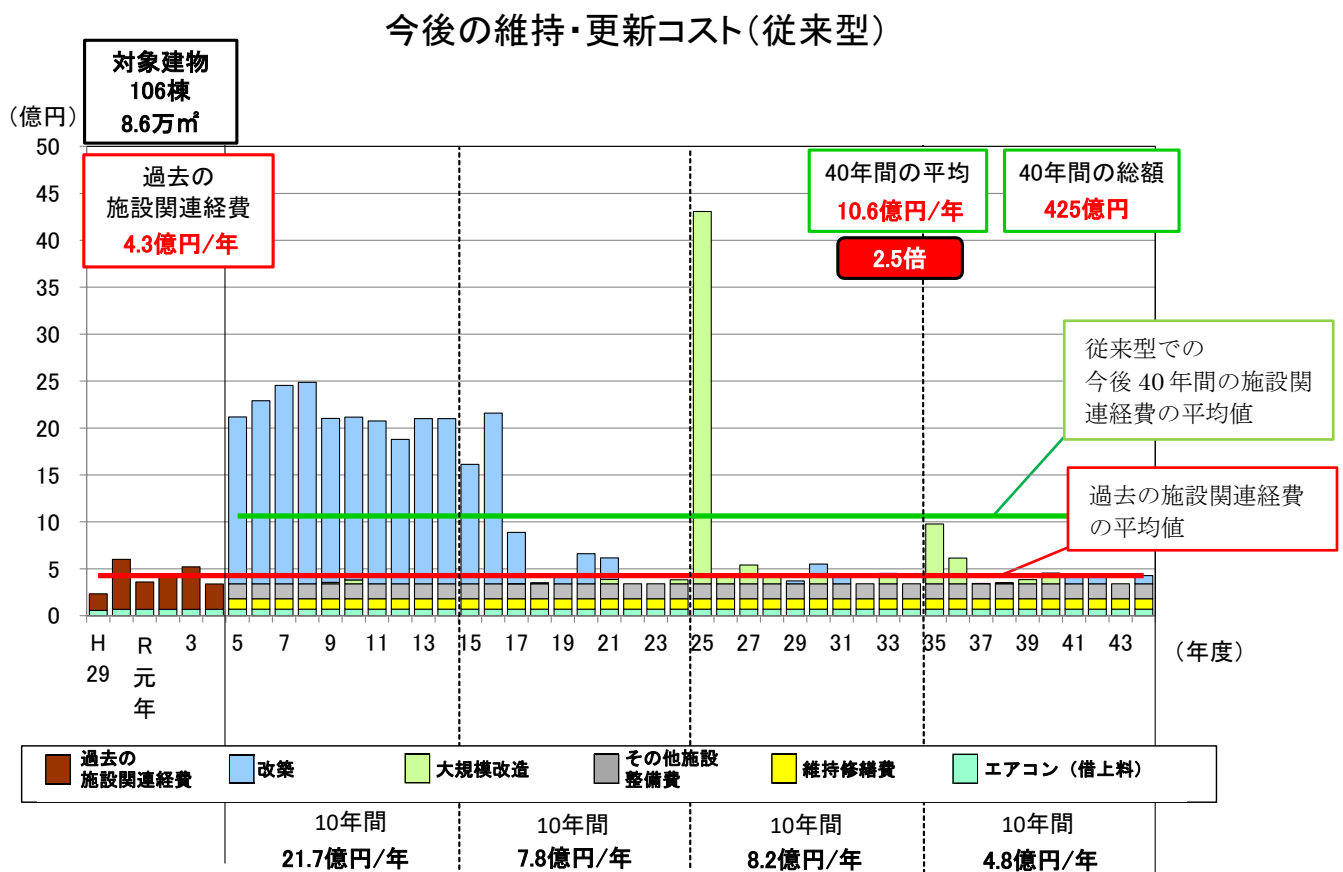


表8 費用区分・内容

費用区分	費用内容	周期	単価
過去の施設関連経費	令和3年度以前の施設整備・修繕維持にかかった費用	—	4.3億円
改築	施設の改築にかかる費用	40年(棟)	27万円/㎡
大規模改造	施設の大規模改造にかかる費用	20年(棟)	6.75万円/㎡
その他施設整備費	施設整備にかかる費用	毎年	1.6億円
維持修繕費	維持修繕にかかる費用	毎年	1.1億円
エアコン(借上料)	エアコンの借上料にかかる費用	毎年	0.7億円

※過去の施設関連経費：H29～R3決算額(P7参照)、R4当初予算額(約3.4億円)

イ 長寿命化型(文部科学省推奨)

従来型の改築中心から改修による長寿命化により 70 年間建物を使用した場合、今後 40 年間のコストは 459 億円 (11 億円/年) となり、これは従来型の改築中心の場合の 10.6 億円/年より、約 4% の増加となる。一方、当初 10 年間のコストは 21.7 億円/年から 14.6 億円/年と縮減できるなど平準化を図ることは可能となる。しかし、長寿命化改修や大規模改造を前提とした長寿命化型による整備方法の実施にあたっては、過去の施設関連経費より 6 億円を上回る費用が必要となり、本市の財政状況では採用が難しい状況である。

図9 今後の維持・更新コスト (長寿命化型)

【築 20 年・築 60 年で大規模改造、築 40 年で長寿命化改修、築 70 年で改築】

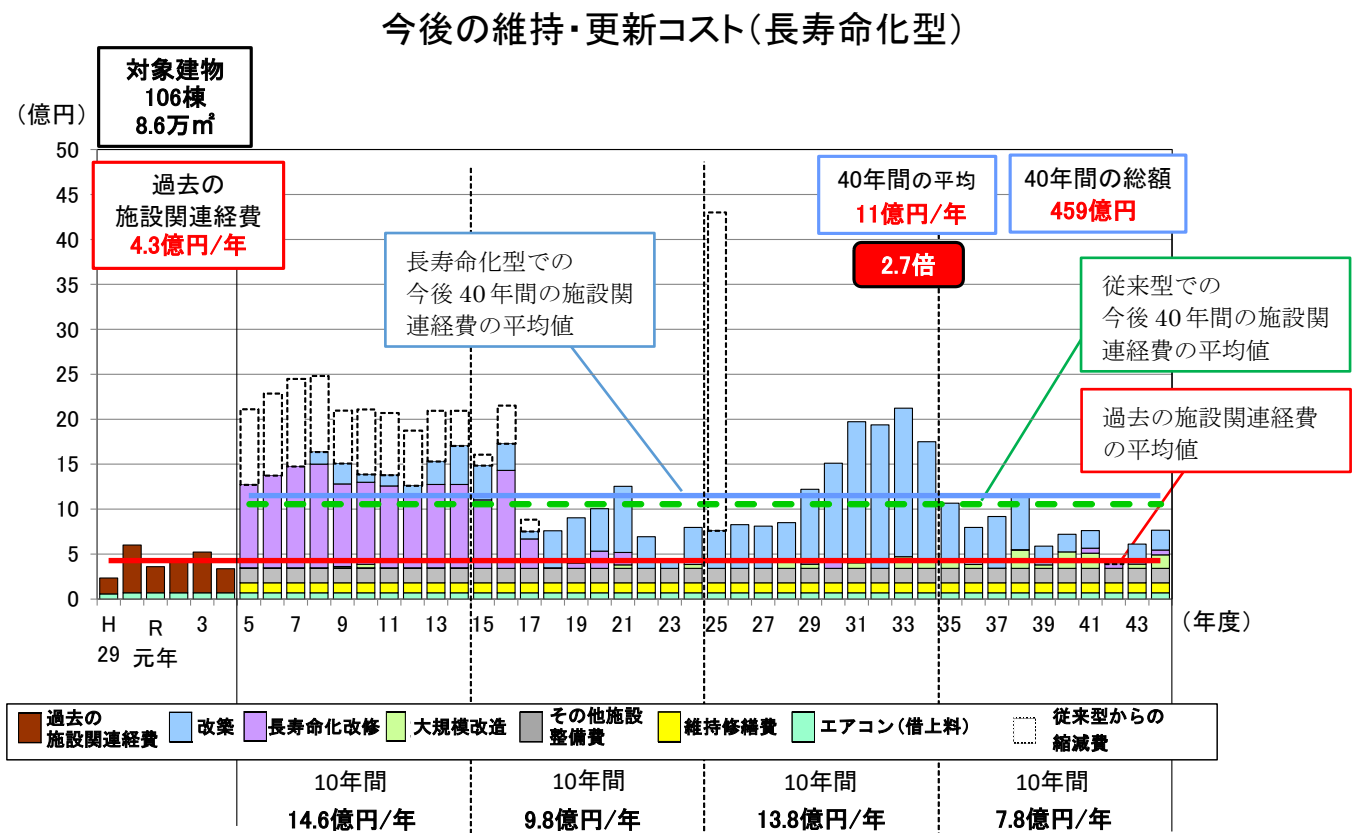


表9 費用区分・内容

費用区分	費用内容	周期	単価
過去の施設関連経費	令和3年度以前の施設整備・修繕維持にかかった費用	—	4.3 億円
改築	施設の改築にかかる費用	70年(棟)	27 万円/㎡
長寿命化改修	施設の長寿命化改修にかかる費用	40年(棟)	16.2 万円/㎡
大規模改造	施設の大規模改造にかかる費用	20年(棟)	6.75 万円/㎡
その他施設整備費	施設整備にかかる費用	毎年	1.6 億円
維持修繕費	維持修繕にかかる費用	毎年	1.1 億円
エアコン(借上料)	エアコンの借上料にかかる費用	毎年	0.7 億円

※過去の施設関連経費：H29～R3決算額 (P7参照)、R4当初予算額 (約 3.4 億円)

(4) 学校施設整備の基本的な方針等

① 学校施設の規模・配置計画等の方針

1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

<p>総合管理計画 公共施設等マネジメントの 基本方針</p>	<p>基本方針1 選択と集中による施設の適正化 ～人口構成や財政事情等を勘案した身の丈にあった適正な保有量を実現します～ ○公共施設等のあり方や必要性について、人口減少や少子化・高齢化、厳しい財政状況、市民の利用状況やニーズ等の面から総合的に評価を行い、本市の身の丈にあった適正な保有量を実現します。 ○公共建築物については、将来の人口推計や財政見通し、市民意識調査の結果等を踏まえ、今後必要な施設機能を想定し、必要なサービス水準を確保しつつ施設の集約化や複合化を図るなど、整備や管理・運営等の施設に係るコスト削減を推進します。また、老朽化した建築物の廃止や重複する機能を有する施設の統廃合を推進します。</p> <p>基本方針2 計画的保全による効果的な維持管理 ～維持管理の適正化と予防保全により既存施設を効果的に活用します～ ○適正な保有量の実現に向けた取組みを進めるとともに、厳しい財政見通しを踏まえ、中・長期的な視点で財政負担の軽減や平準化を図るため、適正な維持管理を行い、公共施設等の長寿命化を推進します。 ○これまでの事後保全の考え方から転換し、予防保全の考え方を取り入れた計画的な点検や老朽化対策を推進し、効果的な維持管理によるライフサイクルコストの縮減や平準化を図ります。 ○設備等の更新に関しても、計画的な更新に留意するとともに、施設の脱炭素化に向け、省エネルギー機器や再生可能エネルギー利用設備の導入を図るなど、光熱水費の負担軽減につながる対策を図ります。 ○インフラ資産については、市内での生活や社会経済活動等への影響が大きいことから、保有量を縮減していくことは困難ですが、優先度やリスクを考慮した効率的な維持管理や計画的な整備を進めながら、長寿命化を図ります。</p> <p>基本方針3 効率的な利活用の推進 ～まちづくり・地域づくりの観点から施設を有効的に賢く利活用します～ ○公共施設等の全体について、新規整備を前提とするのではなく、現在保有する既存施設を有効活用することを原則とし、複合化や多機能化等により限られた施設をより有効に、賢く利活用することに留意していきます。 ○行政サービスの必要性をソフト・ハードの両面から検討し、事業の見直しや類似する機能を有する施設の集約化等により、効率性の向上を図ります。統廃合等により余剰となった施設は、売却等による財産処分や用途の見直しを進めるとともに、まちづくりや地域活動の拠点等として有効に活用します。 ○また、指定管理者制度や業務委託等の導入、複数施設の管理・運営の一元化やPPP/PFI等の民間活力の活用可能性についても十分に検討し、最適な管理・運営方法を推進します。</p>
<p>総合管理計画 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針</p>	<p>○小・中学校については、学校機能の充実を図りながら、必要に応じてコミュニティ機能や福祉・子育て支援機能等との複合化・集約化も含めあり方を検討します。 ○学校教育施設については規模、施設数ともに多く、老朽化も進んでいるため、個別施設計画に基づき更新費用の平準化を図ります。また、必要に応じユニバーサルデザイン化を図ります。 ○避難所となる小・中学校は、必要に応じ非構造部材の耐震化、要配慮者の多様なニーズに配慮できるよう施設・設備の整備を図ります。 ○体育館などの学校内体育施設については、引き続き施設開放を行い有効活用していきます。 ○小学校プールについては長寿命化を図りつつ、民間施設の利用も検討し、中学校プールについては老朽化の状況、負担が増加する維持管理費の推移や更新費用等を踏まえ、更新の是非について検討します。</p>

市民意向	<p>○市民意識調査においては、高い稼働率に反して回答者の8割が地域開放による学校教育施設の体育館等を利用していないと回答しており、利用が一部の市民に限定されている状況がうかがえます。</p> <p>○優先的に維持すべき公共施設14類型において、学校教育施設は2番目となり、優先順位が高いことがうかがえます。</p>
------	--



長寿命化計画 の基本方針	<p>① 計画的な保全による長寿命化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期点検等の実施による観察保全を実施し、安全性の確保を図りながらライフサイクルコストの低減を図る。また、必要に応じ大規模改造や長寿命化改修などを実施していくことを検討する。 <p>② 地域コミュニティの核となる施設の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校機能に配慮しながら、児童・生徒数の減少に伴う余剰教室・余剰スペースの発生状況を踏まえ、コミュニティ機能や福祉・子育て支援機能等を充実し施設の活用を図り、利便性向上に向け複合化や集約化による多機能化を検討する。 <p>③ 民間活力の導入検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育施設の整備にあたっては、PPP/PFI等、民間活力の導入を検討し、財政負担の軽減、民間のノウハウによるライフサイクルコストの低減を図る。
-----------------	---

2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

本市の学校施設13校は適正なバランスで市内に配置されており、本計画期間内においては、原則として現在の配置を維持していくものとする。

一方で、前述の「(3) ① 2) 児童・生徒数及び学級数の変化」における羽島市人口ビジョンによる年少人口の推移をみると、令和36年までは減少の見込みとなっている。また、「(2) 学校施設の目指すべき姿」で前述したように、時代とともに変化する教育活動が適切に実施できることが望まれる。

こうしたことから、今後の学校のあり方を検討する場を位置づけ、教育課題、教育活動、学校運営、適正規模等に関する事項を協議・検討する。そのうえで、今後の学校の方向性を定めるとともに、児童・生徒数及び学級数の減少を踏まえ、小中一貫教育（義務教育学校、小中一貫校等）や統廃合などを含めた学校施設のあり方についても検討を行っていくものとする。

今後、次期計画に向けて、目標使用年数に達し更新が迫られる施設などを考慮し、学校施設の総合的な検討を行っていくものとする。

② 改修等の基本的な方針

1) 長寿命化の方針

施設の更新や改修などの整備方法として、「事後保全」と「観察保全」の2つが挙げられる。

従来の施設整備では、図 10 にあるような「事後保全」が適用されている。事後保全とは、建物に劣化や破損など不具合が生じてから改修を行う考え方で、長期間における機能の維持や使用が困難となる恐れがある。

これに対し、「観察保全」は図 11 にあるように施設に不具合が発生する前に改修を行うことにより、突発的な事故を減少させ改修費用を抑えることができる。また、定期的な点検を行うことにより、事後保全と比較すると施設を長く使用することができる。

今後は、観察保全による施設の改修等を行うことで、施設の長寿命化を図るとともに、ユニバーサルデザイン化や省エネ整備等を進め、機能向上を図っていくこととする。

図 10 事後保全のイメージ

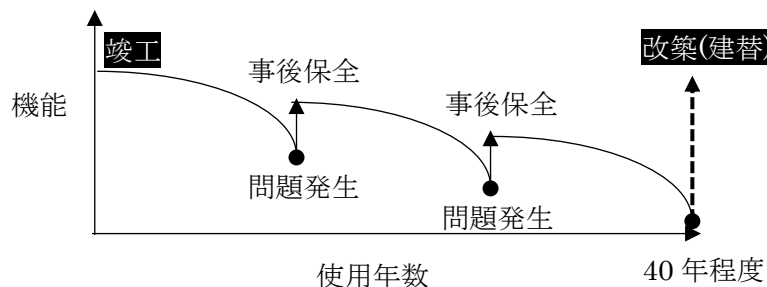
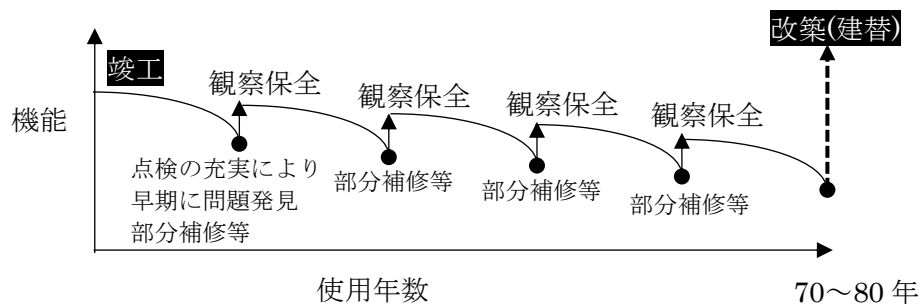


図 11 観察保全のイメージ



2) 目標使用年数の設定

本計画で整理した構造躯体の健全性の内容を踏まえ、目標使用年数を以下のように設定する。

表 10 目標使用年数

区分	目標使用年数
S造全て及びRC造 旧耐震（コンクリート圧縮強度 13.5N/mm ² 超～20N/mm ² 未満）	70年
RC造 旧耐震（コンクリート圧縮強度 20N/mm ² 以上～30N/mm ² 未満）	75年
RC造 旧耐震（コンクリート圧縮強度 30N/mm ² 以上～）及び新耐震	80年

(5) 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

① 改修等の整備水準

改修ごとの整備水準については、イニシャルコストではなくライフサイクルコストを重視した改修を行っていくものとする。また、コストに配慮しながら環境性能や利用者快適性を高めるとともに、「学校施設バリアフリー化推進指針」に沿った整備に努めるものとする。

② 維持管理の項目・手法等

建築基準法第12条第2項に準じた定期点検を3年ごとに実施するとともに、図12の「劣化状況調査票」を点検項目として、1年ごとに点検を実施する。なお、定期点検の時期については、表11のように市内を3地域に分け、平成30年度より北部・中部・南部の順に実施するサイクルを基本とし、劣化の著しい建物を加えて実施する。

表11 地域別点検時期

点検種別	地域	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
定期点検	北部		○			○
	中部			○		
	南部	○			○	
1年点検	全域	○	○	○	○	○

図12 劣化状況調査票

通し番号	学校名		学校番号	調査日	建物名		記入者	棟番号		建築年度	年度(年度)		構造種別		延床面積	m ²	階数	地上	階	地下	階		
1	屋根		仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新) 年度 工事内容	劣化状況 (複数回答可)		箇所数	特記事項	評価	3 内部仕上 (床・壁・天井)		<input type="checkbox"/> 老朽改修											
	屋上		<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 <input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 <input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板) <input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類) <input type="checkbox"/> その他の屋根 ()		<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある <input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある <input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある <input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある <input type="checkbox"/> 樋やルーフィングを目視点検できない <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある					(内部建具)		<input type="checkbox"/> エコ改修											
	2 外壁		<input type="checkbox"/> 塗仕上げ <input type="checkbox"/> タイル張り、石張り <input type="checkbox"/> 金属系パネル <input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等) <input type="checkbox"/> その他の外壁 () <input type="checkbox"/> アルミ製サッシ <input type="checkbox"/> 鋼製サッシ <input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス		<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある <input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある <input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ <input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている <input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある <input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐食 <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある					(間仕切等)		<input type="checkbox"/> トイレ改修											
										(照明器具)		<input type="checkbox"/> 法令適合											
										(エアコン等)		<input type="checkbox"/> 校内LAN											
										4 電気設備		<input type="checkbox"/> 空調設置											
										5 機械設備		<input type="checkbox"/> 障害児等対策											
										6 電気設備		<input type="checkbox"/> 防犯対策											
										7 電気設備		<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策											
										8 電気設備		<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策											
										9 電気設備		<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事											
										10 電気設備		<input type="checkbox"/> 分電盤改修											
										11 電気設備		<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事											
										12 電気設備		<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検											
										13 電気設備		<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事											
										14 機械設備		<input type="checkbox"/> 給水配管改修											
										15 機械設備		<input type="checkbox"/> 排水配管改修											
										16 機械設備		<input type="checkbox"/> 消防設備の点検											
										17 機械設備		<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事											
特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)																							
																						健全度 0 / 100点	

(6) 長寿命化の実施計画

① 改修等の優先順位付けと実施計画

1) 改修等の優先順位付け

以下の優先順位の考えをもとに実施計画を策定する。

表 12 改修等の優先順位

優先順位	改修等の内容
1	D評価の改修・重点施策への対応（ユニバーサルデザイン化・省エネ整備等）
2	定期的な更新が必要な設備
3	その他（日常的な修繕対応）

2) 実施計画

ア 中長期計画(今後 40 年間)

中長期計画としては、建物の改築周期を 70～80 年として、定期的な点検等の実施による観察保全により、部位修繕費を含むその他施設整備費を年間約 1.6 億円で維持していくものとするが、過去の施設関連経費と比べ電気料金やガス料金が高騰するなか、今後の改築費用の捻出が課題となっている。なお、令和 37 年度からの費用算出については、羽島市人口ビジョンの年少人口の減少に伴う必要面積削減率を加味している。

図 13 中長期計画

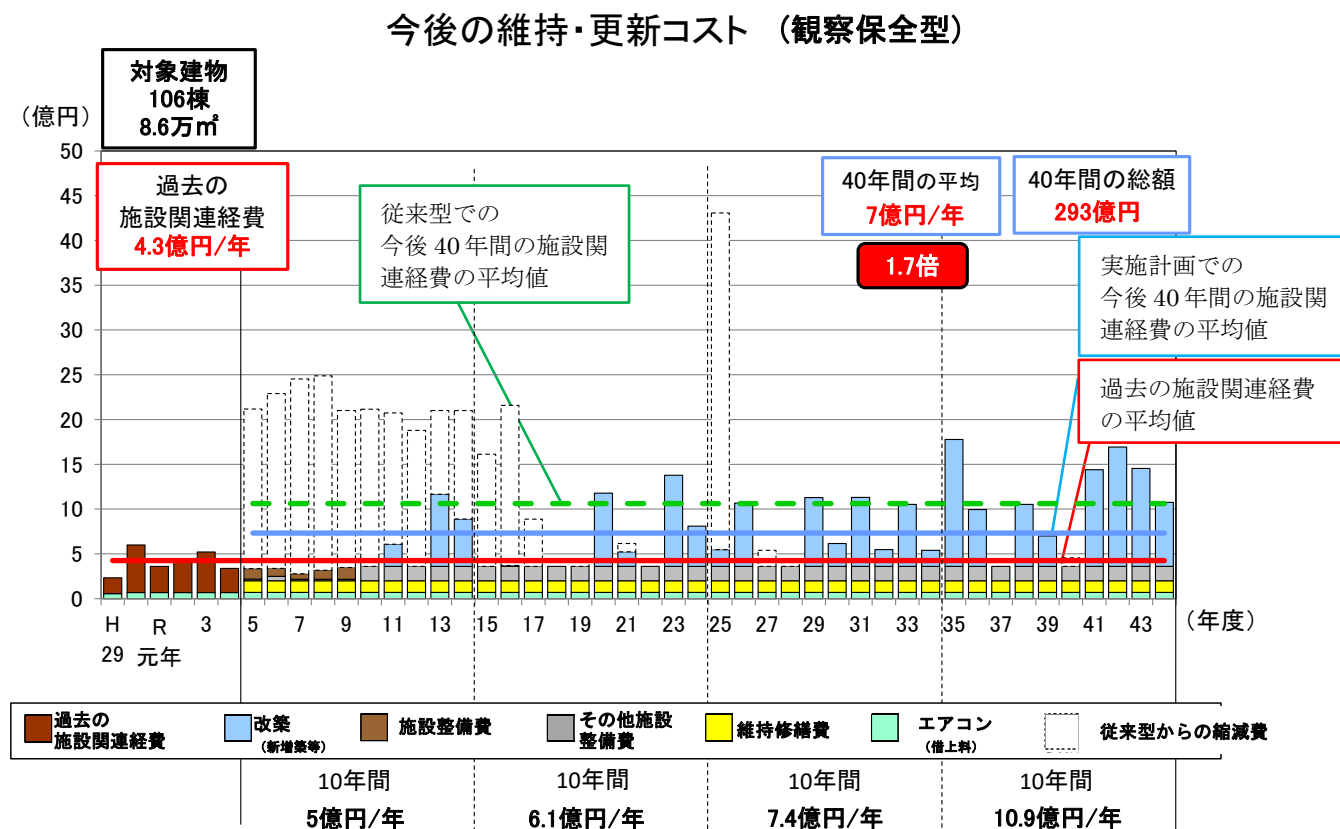


表 13 費用区分・内容

費用区分	費用内容	周期	単価
過去の施設関連経費	令和3年度以前の施設整備・修繕維持にかかった費用	—	4.3億円
改築	施設の改築にかかる費用	70～80年 (棟)	27万円/㎡
その他施設整備費	施設整備にかかる費用	毎年	6年目以降 1.6億円
維持修繕費	維持修繕にかかる費用	毎年	1.3億円
エアコン（借上料）	エアコンの借上料にかかる費用	毎年	0.7億円

イ 短期計画(今後5年間)

表 14 短期計画

(百万円)

事業名称		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
		学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費
施設整備費	新增築事業										
	改築事業										
	耐震化事業										
	長寿命化改修										
	大規模改造（老朽）										
	大規模改造（質的整備）LED							正木小 羽島中	30 30	竹鼻小 竹鼻中 中央中	30 30 30
	太陽光発電										
部位 修繕	ユニバーサル	堀津小	2								
		竹鼻中	5								
	高圧受変電	中央小	26								
		竹鼻中 桑原学	22 5								
防水・外壁	福寿小	正木小	20	正木小	20	正木小	20	竹鼻小	20	足近小	20
		竹鼻小	20	竹鼻中	20	羽島中	20	福寿小	20	正木小	20
		中央小	5	中央小	5	中島中	20				
		竹鼻中	20	桑原学	6						
	桑原学	9									
部位修繕	足近小	5	足近小	3	中島中	5					
その他施設整備費		全校	19	全校	49	全校	17	全校	17	全校	17
維持修繕費		全校	131	全校	131	全校	131	全校	131	全校	131
エアコン（借上料）		全校	69	全校	69	全校	69	全校	69	全校	69
合計			335		337		277		317		347

※維持修繕費：維持管理費、光熱水費（電気料金・ガス料金の高騰見込み分 24 百万円を含む）、委託費（定期点検費、設計監理費を含む）

※令和6年度以降の事業費は、現段階での概算費用を計上し、当該短期計画への計上が長寿命化事業債の適用要件となることから、適時適切に見直しを行うものとする。

(7) 長寿命化計画の継続的運用の方針

① 情報基盤の整備と活用

公共施設の施設基本情報や光熱水費、修繕履歴情報、点検情報などを統一フォーマットで管理する保全情報データベースを整理し、これまでの事後保全から観察保全に向けての施設関連情報を一元管理していくものとする。

② 推進体制の整備

総合管理計画の所管課である総合政策課による全庁的な基準・方針等を踏まえながら、学校施設の整備・管理の所管である教育委員会事務局教育政策課が中心となって、本計画をもとにした学校施設マネジメントを行っていくものとする。

また、日常管理・点検の充実に向けては、施設管理・点検マニュアルなどの整備を検討するとともに、マニュアルの実施に向けた研修会などにより、不具合箇所の早期発見・早期改修によりランニングコストの低減を図っていくものとする。

③ フォローアップ

本計画は、学校施設の改修等の優先順位を設定するものであり、実施にあたっては改築等の庁内合意を得るなかで、実施計画等での予算措置を行うことを前提に事業実施を行っていくものである。こうしたことから、事業の進捗状況や点検結果などを反映して計画をフォローアップし、必要に応じ計画の見直しを図るものとする。

④ 工事の実施に向けた課題の整理

本市においては、近年建物の老朽化による改築事業の実績がなく、市の財政計画において長く予算確保がされていなかったことから、改築事業の実施に向けては予算の確保が最も重要な課題となっている。

改築工事費の予算の確保に向けては、劣化の状況や中長期的な施設管理の展望について全庁的な理解を得るとともに、庁内の全施設の施設マネジメントも踏まえつつ持続可能な維持管理ができるよう改築予算を確保し、段階的かつ継続的な改築事業につなげていく必要がある。

なお、改築事業の実施にあたっては、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）等を活用して、学校関係者、保護者、地域住民等への理解の促進を図るものとする。

第2期羽島市学校施設の長寿命化計画

持続可能な施設の適正な維持管理を目指して

令和5年3月

発行 羽島市 教育委員会事務局 教育政策課

〒501-6292 羽島市竹鼻町 55 番地

電話 058-393-4611

FAX 058-391-0906